

会派代表質問

## 災害対策について

創 政

田 辺 正 弘 議員



問 年を越せば新年度の予算編成に取りかかりますが、駅周辺の排水問題や、厳しい財政問題に耐え得る新たなまちの構造改革を検討する必要があります。高齢化とともに人口減少に歯止めをかける必要もあります。市長の強いリーダーシップと、私たち議員や行政が一体となった取組に向けて進めていきましょう。まず、災害対策について、令和元年の自然災害による災害後の復旧状況について、被災した住居、農業施設、市内の公共施設、道路等は全て復旧したのか。また、その被災の件数や金額について伺います。

答 住居関連は、災害救助法による応急修理の申請は19件で、被害総額は約2720万円であり、これに対する支援総額は約530万円です。また、被災住宅修繕緊急支援事業補助金の申請は334件、被害総額は約4億8270万円です。対する支援総額は約6580万円です。その多くが修繕完了し、4件が現在も実施中です。

農業施設関連は、農業用ハウスなどの修繕に係る補助申請は167件で被害総額は約2億9800万円です。これに対する補助総額は約2億1800万円です。全て修繕完了です。

道路関連は、生活に支障が出る道路の復旧を実施した箇所は、林道を含め93か所、被災金額は約9700万円です。復旧は完了しております。

問 南玉地区の土砂災害に対する市の対応のその後について伺います。

答 令和元年10月に発生した南玉地区の土砂崩れは、短時間における記録的豪雨が主な原因と言われております。当該崩落箇所は土砂の流出が著しく、直下の家屋等への甚大な被害が発生したため、本市が事業主体となり、国の災害復旧事業を活用し、令和2年6月末までに、民家へ流入した土砂の撤去と土砂の再流入を防止する大型土のうによる堰堤の設置を完了しました。今後の南玉地区の対応につきましては、千葉市側で行われていた工事が届出範囲を超えて本市南玉地先まで埋立てされたことが確認されており、千葉県及び千葉市並びに地元南玉、池田地区と連携し、事業者へ指導のうえ、改善を進めており、引き続き関係機関との連携を図ってまいります。

問 コロナ禍における防災対策の見直し、変化について、市民組織（消防団、区、自治会、自主防災）との連携はどのようになっているのか。

答 消防団は消防署などと連携し、火災発生時の消火活動、救助活動を行うとともに、地域住民の避難誘導や各地域の被害状況の把握と報告などを担っております。また、区、自治会及び自主防災組織は、共助として地域で協力し、被害の軽減を図るため被害情報などの収集伝達、避難誘導や避難所運営を担っていただき、防災力向上を図る上で重要です。

問 JR大網駅周辺の冠水対策について、小中川河川改修事業について。

答 大網駅から千葉大網線の道面橋まで、400メートル区間設計を実施しました。現在上流部約50メートルの区間の工事着工し、河道拡幅ブロックによる護岸工事を実施し、来年3月の完成を目指し進められています。来年度以降も継続して河川改修工事を進めていく予定であり、道面橋までの整備につきましては、おおむね4年から5年で行う計画と千葉県から伺っております。

## 関連質問



山下豊昭 議員

問 コロナ禍における対応を伺う。

代表質問の中でコロナ対策の現況と接種関係についての質問と回答を頂きましたが、現在世界中及び日本国内に於いて新種のオミクロン株が勢いを増し拡大中で懸念されているが、今後予測される第6波に向け本市行政の考えと認識を含め具体的な対策についての考えをお示し下さい。

答 国は、第6波への対策として、3割増の入院体制の整備や軽症者の治療薬の確保等を掲げています。市といたしましても、国、県と連携を密にし、各分野にわたる感染対策事業を遂行してまいります。市独自の対策については、インフルエンザ等の感染症対策を緩めることなく、市民の皆様に対して、3密、マスク着用、手洗いの励行をお願いしてまいります。また、情報発信も含め、今後の3回目のワクチン接種について、山武郡市医師会、関係機関と連携し、円滑な接種対策を構築し、適切な対応を図ってまいります。

問 庁舎改修整備のパブリックスペース等の行政の認識、考えを伺う。

庁舎改修による市民サービスの向上は機能的で利便性向上、サービスのスピード化は当然ながら、住民の皆様に対応する職員の方々の環境整備、安らぎの場所作り、パブリックスペースの必要性について伺います。

答 市民交流の場として市役所に必要なスペースと認識しています。職員が休憩する場所もない状況は、今後既存のエントランス再配置も含め有効なパブリックスペースを確保できる様に検討してまいります。

改修による市民サービスと職員への環境改善は一对だと思えます。しっかりと検討を進めて頂き、庁舎改修の成功を願い私の質問を終わります。

## 関連質問



森 建二 議員

問 災害対策について

災害時には自助・共助・公助と言われます。特に「共助」は助け合い。様々な可能性を持ちます。

先日、防災士資格の勉強をする中で「地区防災計画」という言葉を見つけた。お恥ずかしながら初めて聞く言葉でしたので調べると「一定の地域における自発的な防災活動計画」で、平成26年に出来たそうです。市内に於ける現状は。

答 本市においては、地区防災計画を策定した地区・自主防災組織はございませんが、今後、意見交換の場などにおいて、地区防災計画の目的や有用性などを周知し、ご理解頂くとともに、国のガイドラインなども基に推進して参りたいと考えます。

○市役所庁舎改修整備について

問 庁舎改修整備が動き出した。基本方針として「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」とある。「障壁を排除し、多くの人に使いやすい庁舎」と考えるが、どの様な物か。

答 庁舎の「バリアフリー」については、高齢者や障がいをお持ちの方や妊婦、小さなお子様連れの方が安心して手続などができる様に配慮していく必要があると考えます。ユニバーサルデザインについては、現在の庁舎内にエレベーターや多目的トイレが設置されておらず、来庁者にとつて気軽に利用できる状況になりません。これを設置する事を含め、「誰もが安心して利用できる市役所」に向けて努めて参ります。

エレベーターやトイレの整備は多くの市民から求められています。また、財政厳しい折、市庁舎改修整備に向けた助成、国や県による財政的な支援についても十分研究されますようお願いいたします。

個人質問

## 市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 移住促進について

空き家バンク制度の実績等について。今後の見通しもお聞かせください。

答 昨年に登録されました3件のうち2件は、取り下げの申し出がありました。残る1件は家財道具の処分が、コロナ禍により進まず、年明けに片付けを再開すると伺っております。なお、令和3年4月に1件登録申請されたことから現在の登録件数は2件でございます。

ホームページ・固定資産税の通知書に掲載しPRに努めております。

問 コロナによる新しい日常で、リモートワークが望まれている今こそ、移住促進に力を注ぐべきではないでしょうか。

第一回定例会での答弁では、「引き続き、企画政策課が中心となって庁内の関係課と連携し、移住施策を進めたい」とのことでしたが、どの様な施策を進めましたか。また、その成果はどれ程ですか。

答 移住・定住の促進に関して、議員ご指摘のリモートワークに係る施策は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により企業の働き方が大きく変化しておりますが、まず、多くの方に大網白里市のことを知っていただく情報発信を進めていきます。

私は、移住促進を、企業誘致や仕事づくり・子育て支援などと並び、市勢を保つための重要な施策と考えます。お金が掛かり、多くの課にたがることなのでトップダウンでなければ進められないことだと思っております。市長の後押しが必要です。待っている何も変わりません。

問 車イス用トイレについて  
現在の本庁舎一階の車イス用トイレは、男性用のトイレの一角をアコイデオカンターテンで囲んで、そこが車イス用のトイレになっています。現在の状況は、公共施設として恥ずべき状態です。速やかに改修に着手していただくよう、強く要望します。

答 本庁舎の車イス用トイレは、利用される方がほとんどいないことが実情です。本庁舎に多目的トイレを設置する必要性については強く認識しています。

本庁舎の整備に関する基本的な方針を示し、昨年度に基本設計を行ったところですが、今後はこれに基づき、段階的に庁舎改修整備を実施して行く予定です。

問 イベントの開催について

コロナで疲弊した経済や明るい気持ちを取り戻すため、開催基準などを行政側から示して頂きたいと思っております。また、今後のイベント予定について質問致します。

答 コロナ禍におけるイベントの開催については、国の基本的対処方針及び千葉県から示されている協力要請やお願いを踏まえ、主催者等に判断をするものとされており、産業文化祭などのイベント実施については、この方針に基づき、市内及び周辺地域における感染者数などの状況を鑑みて、感染症対策などを考慮し、実施団体となる実行委員会において判断することとなります。

また、朝市の再開につきましても同様で、朝市組合において判断することになりますが、当面の間は休止するものと伺っております。

市としても、イベント等の再開にあたり、充分な感染防止対策を図るなど開催に向け、実施団体と連携してまいります。